

白浜レスキューネットワーク通信 4月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujivabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 56件

保護件数 3件、3人(男性3人)

帰宅件数 1件、1人(男性1人)

○3日夜中、三段壁から電話があり40代の男性を保護した。自死念慮が強く、自殺未遂をしたこともあった。共同生活に加わるようになった。

○16日、男性が相談にのってほしいと訪ねてこられた。話をしている中で落ち着き、次の日帰宅した。

○26日近所のスナックのママさんが10代の男性を連れて当NPOを訪れた。幼いころから施設で育ち、親とも長い間連絡をとっていなかった。着の身着のまま白浜に来ていた。共同生活に加わるようになった。

生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 19人(男性19人)

帰宅 2人

自主退所 1人

○10日、まちなかキッチンで洗濯等手伝いをしていた50代の男性が、説得を振り切って家族の元に戻った。先月一度帰省し、その中で親戚の一人が力になってくれるといったためだ。しかし今仕事がないこと、ここで世話になっていることなどは告げておらず、それではうまくいかないのではないかと、完全に戻る前に電話で話すべきだと話した。しかし、その翌日無断で出ていこうとした。そこをたまたま見つけ、話をしたが出ていくことを選んだ。その後一度連絡があったが、今どうなっているかはわからず心配している。

○15日、先月共同生活に加わった70代の男性は年金が下りる日にやはりどうしても出たいと行って出て行った。いつもお金の使い方失敗する男性なので心配はあるが、送り出すしかない判断した。

○引きこもりの生活が長かった男性はこれまでも度々無断で出ていくことを繰り返していたが今回も作業所に行ったきり帰ってこなかった。今回は行政の方と相談した結果、一度実家に戻すことになった。原因は他の共同生活者との人間関係だった。21日に母親が迎えに来て帰った。

○上記の男性と関係が悪かった男性が、今回のことをきっかけに出ていきと言い出し、2日ほど部屋から出てこなかった。一時は荷物をまとめ出ていくといったが、3日目になってやはりここにいさせてほしいと態度を一変した。もう一度ここで頑張ることになった。

○今月頭に保護された40代の男性は、24日～地元に戻ってアパートや車などの整理をした。調理の経験があるため、新しくはじめたまちなかキッチン-膳飯屋の仕込み等で手伝っている。だいぶ落ち着き笑顔を見せることも多くなってきた。

○飲食店で働く10代の男性は、24日に初めて一人でバスに乗って大阪に行った。仕事場の上司が勧めてくれた歯医者で治療を受けるためだ。職場の方が親身に関わってくださり、本人もよく頑張っている。

自殺予防活動

・コペルくん春のお泊まり会

4月2日～4日間までお泊まり会をした。今回は、総勢32名。そのうち半数以上がコペルくんのお泊まり会はじめて。さらに3分の2以上が低学年だっ

た。まず、お泊まり会のルールを子供たちと確認した。①大人の話聞く、②ものを大切にする、③時間と場所をまもる、④残さず食べる、⑤グループ行動をする。縦割りで5つのグループをつくり、ご飯の準備や、お皿洗いも順番に担当した。BBQ、番所山探検、とれとれの湯…そして最終日はコペルくん恒例、突撃キッチンごはん隊。子どもたちがメニューを決めて、買出しをして、みんなで作って、お片付けまでした。今回は、たこやき屋さん、ラーメン屋さん、餃子屋さん、カフェ。一時はどうなるかと思った餃子も大成功！定番タコ焼きも、苦労したパフェもケーキもみんな大満足だった。



コペルくんでもいつも大切にしていることは「やりきることとのがさないこと」。本気で何でも経験させたい、できるようにしたいと思っている。今までしたことのないことを要求されてびっくりした子ども、しんどいと思った子どもいるかもしれないが、それでもよくついてきてくれた。今回のお泊まり会がただ「楽しかったー」で終わらない経験になったのではないかなと思う。けんかもして、涙もながして、仲直りもした。

・放課後クラブ・コペルくん

開催日数15日、延べ人数85人(内中学生4人)

4月からコペルくんには6名、新しい子どもたちが加わった。ほとんどが今まで学童に行っていた子たちだ。活発な子が多く、全く人見知りをしない。晴れている日は、外の小屋でおままごかおにごっこをしている。

新しく来たこの子の中で、勉強に対して劣等感を抱いている子がいる。両親は共働きで、今まで、自分の力だけでは、その日のうちに宿題を終わらすことができないでいた。コペルくんですっかり宿題を終わらせてから次の日学校に行くということを身につけさせたいと思う。

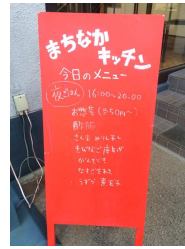
中学生男子1名が毎週火曜日と木曜日の夕方から勉強しに来ている。

・相談電話

2、9、16、23、30日に毎週休まず行った。毎

週同じ方がかけてこられている。

・まちなかキッチン



4月1日からまちなかキッチン一膳飯屋がスタートした。今まで15時までだった店舗の営業時間を20時まで延長し、16時からお惣菜屋&食堂を始めた。気軽に来ておうちごはんを

楽しめるお店にしようとして新装開店！店舗で食べることも惣菜を持ち帰ることもできる。お弁当の常連客さんも、町内会のおばちゃんも、夕飯に、次の日のお弁当のおかずにと買っていく。

今月は 個のお弁当を販売した。今月は大口の注文をくださる場所が増え、売り上げを伸ばすことができた。



・農作業

損保ジャパン記念財団から農作業のために補助金をいただいた。(写真は授与式の時の記事)



・人事

スタッフを2名雇用した。

・今後の講演予定

5月7日：クリストファー高校で講演

5月17日：和歌山いのちの電話講座

6月20日：大阪堺市プール学院大学講演